

こだわりの空間設計のディスプレイツールとして 当社スペースプレーヤーが採用されました。

広島県安芸郡 マツダ株式会社 様



**主役である車の魅力をシンプルに伝えたい。
その思いにフィットしたのがスペースプレーヤーでした。**

マツダ株式会社様では独自の環境技術「スカイアクティブ」と斬新なデザイン「魂動デザイン」を採用した第6世代の車種を発売。四半世紀にわたって愛されているロードスター、SUV販売台数2年連続1位の人気車種CX-5など、代表車種を本社ロビーに展示されています。

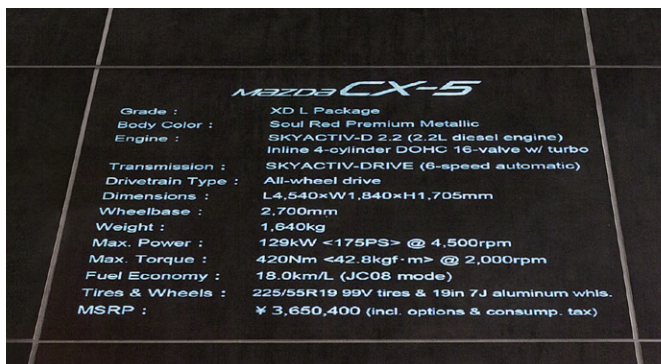
今回、その魅力を最大限に表現するためにロビースペースを全面改装されました。展示スペースは、第6世代の象徴的カラーであるソウルレッドを印象付ける黒を基調とした内装に。主役である車の魅力を引き出すために、ディスプレイ要素をそぎ落として、シンプルな空間に仕上げられました。そして、そのコンセプトを損なうことなく、車の展示に欠かせないスペックを見せるためのツールとして当社のスペースプレーヤーが採用されました。





Space Player
NTN91000B
オープン価格

仕様／●光源：レーザーダイオード ●光出力：1000 lm
●入力電圧：AC100V 50Hz / 60Hz (100V配線ダクト用)
●消費電力：125W ●寿命：20000時間 (初期の50%の明るさになるまで)
●灯具：プラスチック (ブラックつや消し仕上) ●ワイヤレスリモコン付
●推奨映像解像度：1,280×800



内装に溶け込むすっきりとしたデザイン。
コンパクトながら、鮮明な投影で車種ごとのスペック情報を表示しています。

当社が実施したデモ提案で 表現力、操作性が高い評価を獲得。

当社がモーターショーのディスプレイツールとしてご提案するために、スペースプレーヤーのデモを実施させていただいたのが今回のご採用のきっかけです。本社ロビーの改装を進めておられたご担当者様が、そのデモをご覧になり、表現力、操作性を高く評価され、ロビー改装への導入につながりました。

空間設計のコンセプトを損なわない コンパクトデザインがご採用の決め手に。

主役である車の魅力を伝えるためのシンプルな空間という展示コンセプトのネックになっていたのが、スペックスタンドでした。従来は、通路スペースのカウンターに設置しているタブレットで表示。しかし、展示車との距離があるため、わかりにくいという声もあり、運用上の不便さを感じておられました。

今回、スペースプレーヤーをご採用いただいたことで、展示車のリアサイドにそれぞれのスペックを表示。商品の世界観を損なうことなく、必要な情報を提供できたと喜ばれています。

従来のプロジェクター以上の投影精度で 細かい文字情報も鮮明に表現。

コンテンツは、床材タイルのモジュールに合わせたスペック表記。スペックスタンドと同等の内容を床面に投影しています。漢字・数字・アルファベットのいずれの表記も鮮明に映し出され細かいスペックが見やすく表示されています。

今回のロビー改装の目的は、マツダが目指す「お客様との間に特別な絆をもったプレミアムなブランド」にふさわしい空間を作ることでした。スペースプレーヤーの採用で、重要なスペック表示とシンプルな空間を両立できました。来社していただいたお客様からも「格好いい」とお褒めの言葉をいただいております、マツダブランドの世界観を体感していただけるとなっています。

初めてスペースプレーヤーのデモを拝見した際に白いスニーカーにプロジェクションマッピングされていて、その表現力に驚かされました。現在は車のスペック表示に使用していますが、今後様々なシーンでの活用の可能性が広がるとワクワクしています。



マツダ株式会社 グローバル販売 & マーケティング本部
ブランド戦略部 伊藤 あずさ 様

納入商品

■ スペースプレーヤー × 4台